



長尾和宏 (ながお・かずひろ) 医学博士。東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。この連載が『平成臨終図巻』として単行本化され、好評発売中。関西国際大学客員教授。

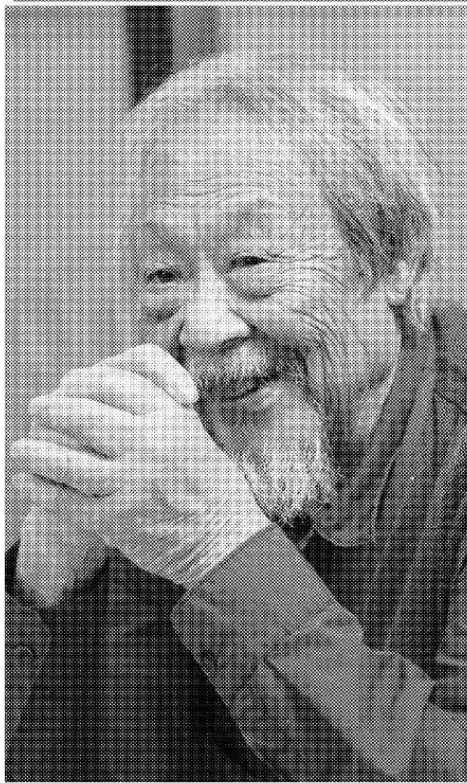
が続けて逝かれるというのは、あまり知りません。

『ゴルゴ13』のさいとう・たかをさん(9月24日没、享年84)に続きまたおひとり、昭和を代表する漫画家が旅立ちました。

『カムイ伝』などで知られる白土三平さんが、10月8日に都内の病院で亡くなっていったとのこと。享年89。死因は、誤嚥性肺炎との発表です。

また、報道によれば、長年白土さんの作画を担当されていた実弟の岡本鉄二さんも、兄の死から4日後の、10月12日に後を追うようにして都内の病院で亡くなられたとのこと。岡本さんは享年88。死因は、間質性肺炎との発表です。仲の良かった夫婦が立て続けに逝くというケースは、僕も何度も見てきました。しかし、御兄弟

④『カムイ伝』などで知られる漫画家 白土三平



しかも、兄弟が同じ肺炎で、と思われた方もいるかもしれません。誤嚥性肺炎と間質性肺炎は別の病態です。誤嚥性肺炎は、嚥下機能の衰えとともに、唾液が睡眠中に気管に流れ込んで引き起こされる肺炎

で、高齢になるほど増えていきます。一方、間質性肺炎は、肺の間質(空気が入る肺胞を除いた部分)に線維が増えて炎症を併発する病態です。厚生労働省は先頃、2020年の我が国の死因順位を発表しました。全死亡数は約138万人で、

コロナ対策により全体の死者数減少

高齢化に伴い、年々死亡者数が増えていた日本ですが、実は、昨年は11年ぶりに約9000人も死者が減少しています。コロナ対策により、コロナ以外の肺炎やインフルエンザなどコロナ以外の感染

その内、肺炎の死者は約8万人で第6位。誤嚥性肺炎は4万人で第7位ですが、先週この連載で書いたように肺炎や誤嚥性肺炎があっても、在宅で穏やかに亡くなった超高齢者の場合は家族と相談し、「老衰」と死亡診断書に書くケースも増えてきました。

症による死者が減ったためだと言われています。コロナによって、全体の死者数は減少した……なんとも面妖な話です。

白土さんはマスコミ嫌いで知られ、60年代から千葉の漁村に移住。釣りを楽しみ、仙人のような半自給自足の暮らしを続けていたそうです。

小中学校時代は軍国教育を受けたこともあり、「人間の自由とは何か？」を作品に問い続けてきた白土さんは、2018年の毎日新聞のインタビューでこんなことを仰っていました。

「江戸時代や、戦前とはまた違う形で、(今も)自由にはなっていない。『カムイ伝』が未だ読まれ続けること自体、自由もまだまだ、差別もなくなっていないことの裏返しでしょう」

『カムイ伝』、不朽の名作です。

兄弟が異なる肺炎で死去